

大隈伯奇行下

敬啟

過日ハ唐突最門ヲ叩キ候一序ノ邊心
唯々先閣ニ對シ赤心ヲ以テ舊誼ヲ盡ク
ニカ爲ノ外亦座無ク幸ニ過意申笑納
ヲ辱シ聊カ平懷ヲ慰シ申候然ニ先陰的過
ノ中ニ圖ラスモ大會招集杯騎虎ノ勢ヲ甚奈
シ擾亂陪々加シ火勢ノ熾ノ處今ヨリ酸鼻ニ
耐ハス事既此ノ極ニ達スルモ尚ホ城北ノ大砲筒
ハ終ニ之レヲ濟スヤ過日巾面持ニ依テ氷解ヒレ
疑團不幸再ニ禁結ヲ生シ候遠水近火ヲ
濟シ能ハスデハ必負千載ノ萬歴史ヲ汚シ再
識者ヲシテ只大言壯語ニミテ指笑セシムニ忍ス抑
モ若生ノ山ヨク出テ来リ候邊心只此一義ニ有之
政黨ノ無廢杯寧ノ胸中ニ置カス若生藩國
ノ出身ヲ以テ物好キニ獨リ先有テ敬シ陰ニ陽
讚歎賞揚シ年々候一己ノ聲甚言ニ關シテモ
老翁ヲシテ唯々大言仕事ニ誠ナシト誹謗ヲ嘗
ニセシムルハ同時若生亦ノ世間ニ對シ嘘吹者ナル責
ヲ免レズ重テ鼻出嚴シ冒瀆スル所以ニ申座候
多蒙巾實怨奉仰候 悟橋敬具

三月十五日

甲稿田

大隈伯奇行下
敬啟

對
之
書

